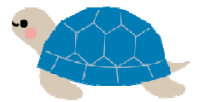




図書館員が選ぶおすすめの本

～中学年向け（小3,4）～



「いっぽんの木のそばで」

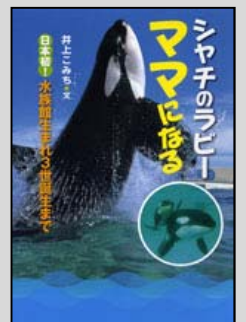
G. ブライアン・カラス // 作 いしづちひろ // 訳 BL出版

ある夏の日、男の子がどんぐりを土にうめました。
やがて、大きくなったオークの木は、変(か)わりゆく町のようすや人間の生活を長い間みつづけます。
ある年、大あらしがやってきて、オークの木はたえられずたおれてしまいますが……。時代のうつりかわりの景色が美しい絵本です。

「シャチのラビー ママになる 日本初！水族館生まれ3世誕生まで」

井上こみち // 文 国土社

シャチを水族館で飼育(しいく)することは大変(たいへん)なことです。
ラビーの両親は、氷の国アイスランドからやってきました。
水族館育ちのラビーが、赤ちゃんを生むまでのスタッフたちの努力(どりよく)や苦勞(くろう)がえがられています。
高い知能(ちのう)をもつシャチについて、もっと知りたくなります。



「まほろ姫とブッキラ山の大テング」

なかがわちひろ // 作 偕成社

たぬきに育てられたお姫(ひめ)さまのお話です。まほろ姫にはひみつがあります。
頭に葉っぱをのせて、じゅもんをとなえ宙(そら)がえりすると、思ったものにばけられます。
その葉っぱをとりてブッキラ山へ入ったまほろ姫のものがたり。
たのしいさし絵が入ったファンタジーで、よみごたえのある本です。

「マンモスアカデミー (1)きえた給食のなぞ」

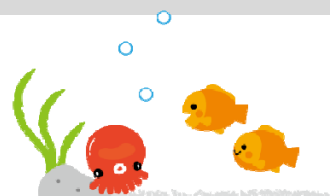
ニール・レイトン // 作 相良倫子・陶浪亜希 // 訳 小峰書店

マンモスがいたのは今から1万年以上(いじょう)むかしの「氷河期(ひょうがき)」、雪と氷に
おおわれていた時代のお話です。
マンモス、キツネ、サイなどいろいろな動物がマンモスアカデミーに通っていました。
寒い時代の動物たちは、どんな学校生活をおくっていたのか気になりませんか？



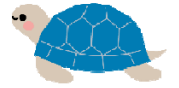
※対象年齢は目安です。

※裏面もごらんください。





図書館員が選ぶおすすめの本



～中学年向け（小3,4）～

「こども「学問のすすめ」」

齋藤 孝 // 著 筑摩書房



江戸（えど）時代から明治（めいじ）時代にかけて活やくした、福沢諭吉（ふくざわ ゆきち）が書いた「学問のすすめ」をわかりやすくしょうかいした本です。
“どうして勉強するんだらう”などをやさしく説明（せつめい）してあります。

「神社・お寺のふしぎ100」

田中ひろみ // 文 藤本頼生・東京都仏教連合会 // 監修 偕成社編集部 ほか // 写真 偕成社



コンビニエンスストアより多い全国の神社・お寺についてのしつ問に答えています。
どうしてお参（まい）りするの、なぜ手をあらうところがあるの、入口の鳥居（とりい）の意味は？パワースポットって何？
知らなかったなぞがわかります。

「暗やみの中のきらめき

点字をつかったルイ・ブライ

マイヤリーサ・ディークマン // 著 古市真由美 // 訳 森川百合香 // 絵 汐文社



200年位（くらい）前のフランスのもう目の少年ルイは、「世の中の本をすべて読みたい」と思っていました。
ルイは、もう学校に入学、目の見えない人たちの文字「点字」を作りました。
ルイの熱（あつ）い思いがつつづられています。

「むかしのくらし思い出絵日記1

おばあちゃんの家 わたしの家」

たかいひろこ // 著 ポプラ社



昭和のはじめのくらしがわかりやすいイラストでえがかれています。
かまどでのご飯（い）たき、五右衛門（ごえもん）ぶろのつかいかた、ちゃぶ台での食事など今では見かけなくなった生活用具（くわしやうぐい）がたくさんついています。

「動物の寿命

いきものたちのふしぎな暮らしと一生」

増井光子 // 監修 素朴社



かっているペットはどれくらい生きるんだらう？と考えたことはありませんか。
動物・こん虫（こんちゅう）・鳥（とり）など、あらゆる動物の寿命（じゆみょう）と食べもの、ふしぎな暮らしについて説明（せつめい）してあります。

「椋鳩十名作選 モモちゃんとあかね」

椋 鳩十 // 著 小泉澄夫 // 絵 理論社



「モモちゃんとあかね」のおはなしのほか、6つのおはなしがついています。
ネコのモモちゃんは、あかねちゃんがか赤ちゃん（あかちゃん）のときからずっといっしょでした。
17年間のあかねちゃんとのくらしが楽しくえがかれています。

「アラビアン・ナイトのおはなし」

中川正文 // ぶん 赤羽末吉 // え のら書店



世界中で読まれている「アラビアン・ナイト」から三つのお話（わらわ）がのっています。
「アリババと四十人のとうぞく」「アラジンとまほうのランプ」「空とぶ木馬（きば）」
知恵（ちえ）と勇氣（ゆうき）と想像力（そうぞうりょく）のつまったお話の中にきっとひきこまれてしまいますよ。

「こちら動物のお医者さん

子ヒツジかんさつノート」

ルーシー・ダニエルズ // 作 千葉茂樹 // 訳 サトウユカ // 絵 ほるぷ出版



いつか動物のお医者さんになりたいと思っているマンディ。マンディは、校外活動（がくわいどう）でいっしょにこひつじを世話（せわ）をすることになった男の子がちょっと苦手（がた）でした。